

平成 26 年度 施策評価シート

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	5. 交流拠点の創出
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想「土地利用構想」で位置づけている交流拠点について、アクセスの向上と管理運営方法や魅力づくりを検討します。</li> <li>町の玄関であるJR二宮駅周辺地区の交通環境を拡充するとともに、商店街と地権者の協力を得てまちづくりの検討を進めます。</li> <li>東京大学農学部二宮果樹園跡地については、社会状況の変化や町民ニーズ、町の公共施設の立地状況を踏まえ、町民参加によって、土地利用や実現方策を暫定的な土地利用も含めて検討します。その際に、町民の「まちづくりの力」による施設利用、民間の活力の活用等多様な実現手法を検討します。</li> </ul>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 交流ゾーンの検討	1	B
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流拠点となる東京大学農学部二宮果樹園跡地の未利用地の取扱い検討及び本格活用に向けた方法等の検討が必要となる。</li> </ul>	

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する                  B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する                  C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある                  D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画の重点的方針に沿い、JR二宮駅周辺の交通環境の拡充など、町が抱える様々な課題については抽出済みであるが、これら課題の解決を念頭に置いた総合的な将来利用の方向性を示し、検討委員会としての結論を出す必要がある。</li> </ul>
	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京大学果樹園跡地の将来利用方法など、交流拠点の創出のため、大規模な事業実施が想定される場合には、相応のシンクタンクを活用し推進していく。</li> </ul>

◎最終評価者[庁内評価委員会]		
	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する                  B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する                  C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある                  D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
意見等	<p>「交流拠点の創出」の項目については、適切に位置付けられており、効率よく事業が進められているが、一部改善の余地がある。跡地利用については、引き続き交流拠点創出に向け積極的な検討を実施し、今後明確な方向性を出していく必要がある。また、町有地として適正管理につとめる必要がある。</p>	